

進路講話「将来の進路の選び方」

平成28年7月13日

7月13日の5,6限目に、講師に山内大地先生をお呼びして、2年生を対象に進路講話を行いました。身振り手振りを交えた情熱溢れるお話、クイズを取り入れた参加できる形式に生徒の皆さんは終始目を輝かせて講話を聴きました。勉強の大切さ、将来身につけなければいけない力の重要性を改めて理解し、「もっと勉強をがんばりたい!」「人生の為に話聞いた!」といった声が講話後に続々と聴くことができました。

講話の様子



心を打つ熱い話を山内先生にしていただきました



皆、食い入るように講話を聞いています



グループでの話し合いタイム。皆さん、真剣に行っています。



講話の後に質問をする生徒も多数いました!

生徒の感想

夢について、今できることをしっかりやろうと思った。毎日勉強なんてしたことがないし、やろうとも思っていなかった。だけど、1日15分ごとの勉強をやろうと思った。続けるのはなかなか難しいかもしれないけれど、やると決めたことはとことんやりたいし、後悔する人生は送りたくないの、今を大切にして、未来の土台を作っていこうと思った。

また自分の武器を見つけて、人と違う道を行きたいと思った。

本日は貴重な話をしていただきありがとうございます。勉強、受験、就職のことまで細かく熱く説明してくださり、とても面白く最後までワクワクして聞きました。

大学受験をする時は行ける大学ではなく、頑張っている大学に行きたいと思います。行動に移すのはなかなか難しいですが、少しずつでよいので頑張っていきたいです。

能動的学習とグリーン車が印象に残っています。やっと自分がやりたいことがはっきりと決まって、目指す目標ができていたので、それを実現するために、今はコツコツと勉強をやるべきだと思いました。グリーン車に座るために高い目標を持って頑張ります。15分勉強を取り入れていきたいと思います。

先生の講話、とても楽しく聞かせていただきました。頑張ろうと思いましたし、進路のことがすごく楽しみになりました。

大学で卒業するまでに資格さえ取れば絶対に就職できると思って、大学案内の就職先のところはあまり見たことがなかった。同じ資格を取っても、人によって研究から就職まで全然違うことが分かった。大学関係者の合同説明会だけでなく、そこに入学した現役大学生と話せる、オープンキャンパスに参加して、将来についてしっかり考えたいと思った。

能動的に動くことは、はじめはとても勇気がいることだと感じました。その勇気が自分を成長させてくれるのだとも感じました。人に言われて勉強するのではなく、自分から勉強する。勉強を嫌いではなく、面白いと感じられるようになりたいです。進学に失敗しないため、自分で大学について沢山調べていきたいと思いました。

熱意のこもったお話が心に響きました。私は集中力が全くないのですが、先生のおっしゃっていた15分学習をやってみたいと思います。

就職するにしろ進学するにしろ、情報収集と志を高く持つことが大事だとわかりました。

今まで、私は成績が悪いから国立大学には行けないから私立大学に行こうと、国立大学をあきらめていました。しかし、今日の話から簡単に諦めてはいけないし、もっと大学について情報収集し、オープンキャンパスに参加し、自分の一番合った大学を見つけたいと思いました。